

花王グループの税務方針

● 基本方針

花王グループは、企業理念である「花王ウェイ」の基本となる価値観である「正道を歩む」に基づき、法と倫理に則って行動し誠実で清潔な事業活動を行い、社会への責任を全うしていきます。

花王グループは、各国の関連法令及び規定に則った健全な税務管理を行い適切な納税を行うことが、各国の経済及び社会発展に重要な役割を果たすことになり、全てのステークホルダーの支持と信頼に応えることにつながると理解しています。

花王グループは以下のように、各国の税制改正や国際的な税務フレームワークの動向に対し適時対応に努め、常に適切な税務コンプライアンス体制の整備に努めていきます。

● 税務リスクの最小化

花王グループは、各国の税制や行政の運用に適時対応し、株主価値向上のため税務リスクを最小化することに努めています。

● 税務ポジションの不確実性の低減

事業活動の中で税務上の解釈が不明確な取引が生じる場合があり、不明確なまま実行した場合は会計への影響も考えられます。

このような場合は早期解決を図るため、専門家のアドバイスを受けると共に、より確実性を確保するため税務当局への事前確認制度などを利用することで、税務ポジションの不確実性の低減に努めています。

● 国際的な税務フレームワークへの取り組み

花王グループは、OECDによるBase Erosion Profit Shifting (BEPS)プロジェクト等の国際的な取組みが、税の透明性確保や国際的な租税回避を防止するために重要な取組みであると理解しています。

そのため、各国税法を遵守するとともに、国際的な取組みの主旨に則った税務管理を行い、税に関する透明性の確保に努めています。

● タックスプランニング及びタックスヘイブン

花王グループは、事業目的や実態の伴わないタックスプランニングやタックスヘイブンの利用が、各国における適正な税金の納付を阻害する要因であると理解しています。

花王グループは事業目的に沿って海外進出先やグローバルな事業体制を決定することとし、タックスヘイブンを利用する恣意的な租税回避及び濫用的なタックスプランニングの防止に努めています。

● 移転価格

グループ会社間の国際取引は、機能、資産およびリスクの分析に基づき、その貢献に応じた適切な利益配分を独立企業間価格に基づいて設定すると共に、その独立企業間価格の算定においては、OECD 移転価格ガイドラインの遵守に努めています。

● 税務コンプライアンスにかかる社内体制の構築

花王グループは、税務コンプライアンス体制が適切に機能するためには、経営層及び社員の税務コンプライアンスにかかる意識の浸透・定着を進めることが重要であると理解しています。

そのために、適切な税務処理に関する啓発、各種情報共有や相談などを行うことで、法令遵守を徹底すると共に、税務リスクの低減に努めています。

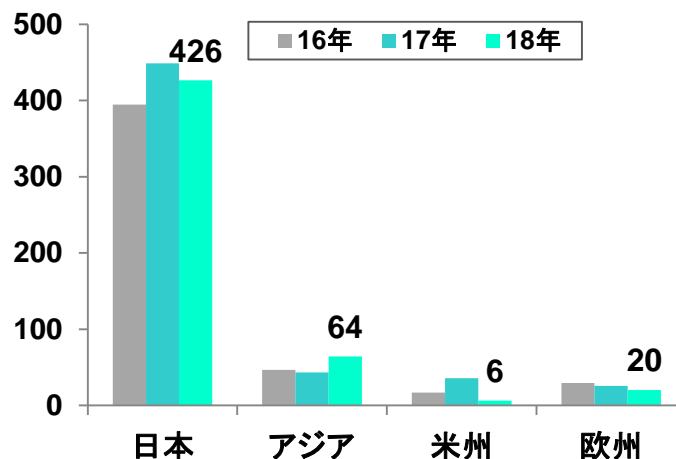
また、開示の内容について、ステークホルダーからの要請、社会動向などを踏まえて検証を行い、適宜必要な施策の実施に努めています。

● 税務当局との適切な関係の構築

花王グループは、税務リスクの低減の為に税務当局に対して適時かつ適切な税務情報提供を行い、誠実に対応することで信頼関係の構築に努めています。

以上

参考資料：花王グループの地域別法人税納税額



	納付税額					
	16年	構成比	17年	構成比	18年	構成比
日本	395	81%	449	81%	426	82%
アジア	47	10%	43	8%	64	12%
米州	17	3%	36	6%	6	1%
欧州	29	6%	26	5%	20	4%
合計	487	100%	553	100%	517	100%